

2015年6月5日

株式会社 山と溪谷社  
<http://www.yamakei.co.jp/>

「猟師ハ見タ……。」山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を集成した、  
現代版遠野物語『山怪 山人が語る不思議な話』を刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：関本彰大）は、6月5日に『山怪 山人が語る不思議な話』（田中康弘 著）を刊行しました。



本書は、著者の田中康弘氏が、交流のある秋田・阿仁のマタギたちや、各地の猟師、山で働き暮らす人びとから、実話として聞いた山の奇妙な体験談を多数収録。話者が自分で経験したこととして語る物語は、リアリティがあり、かつとらえどころのない山の裏側の世界を垣間見させてくれます。創作怪談とは異なる、現代版遠野物語ともいえるフィールドワークの成果です。

カバー装画は、日本の小口木版画の第一人者である柄澤齊氏のオリジナル作品で、「山怪」の世界観を表現しています。装丁も美しく、陳腐な怪談本とは一線を画しています。

You Tube に、ダイジェスト版、執筆動機編、著者による朗読などのプロモーション動画をアップしております。

<https://www.youtube.com/user/yamakei1930>

## 【目次】

### はじめに

I 阿仁マタギの山 狐火があふれる地／なぜか全裸で／楽しい夜店／生臭いものが好き／狐の復讐／見える人と見えない人／狸は音だけで満足する／消えた青い池／人魂、勝新太郎／親友の気配／辿り着かない道／蛇と山の不思議な関係／汚れた御札／マタギの臨死体験／叫ぶ者／白銀の怪物

II 異界への扉 狐と神隠し／不死身の白鹿／来たのは誰だ／もう一人いる／道の向こうに／響き渡る絶叫／僕はここにいる／謎の山盛りご飯／山塊に蠢くもの／鶴岡市朝日地区／出羽三山／鷹匠の体験／奈良県山中・吉野町／ツチノコは跳びはねる／足の無い人／巨大すぎる狐火／山から出られない／行者の忠告

III タマシイとの邂逅 帰らない人／死者の微笑み／迎えに来る者／ナビの策略／椎葉村にて／テントの周りには／幻の白い山／なぜか左右が逆になる／不気味な訪問者／天川村の事件／帰ってくる人／固まる爺婆／お寺とタマシイ／飛ぶ女／帰ってくる大蛇／呼ぶ人、来る人／狐憑き／真夜中の石臼／狐火になった男

### おわりに

田中康弘 たなか・やすひろ

1959年、長崎県佐世保市生まれ。礼文島から西表島までの日本全国を放浪取材するフリーランスカメラマン。農林水産業の現場、特にマタギ等の狩猟に関する取材多数。

著作に『マタギ 矛盾なき労働と食文化』『女猟師』『マタギとは山の恵みをいただく者なり』『日本人はどんな肉を食ってきたのか？』（いずれもエイ出版社）がある。

『山怪 山人が語る不思議な話』  
田中康弘 著  
2015年6月5日刊行  
四六版ソフトカバー 256 ページ  
定価：本体 1200 円＋税  
ISBN978-4-635-32004-7  
電子版  
基準価格：本体 960 円＋税

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>  
1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>  
株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証 1 部 9479)を  
持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の  
高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

---

【本リリースについてのお問い合わせ先】  
株式会社山と溪谷社 担当：勝峰  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング  
TEL03-6744-1911 メール [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)